

# はがめし 羽釜飯に舌つつみ

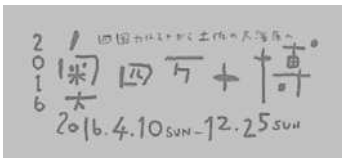
## 第26回 龍馬と歩こう脱藩の道

坂本龍馬が脱藩した3月24日に一番近い日曜日に催している津野町恒例のイベント「第26回 龍馬と歩こう脱藩の道」が、今年も3月27日(日)に行われ県内外から196人が参加し、佐川町斗賀野の龍馬神社から津野町永野のかわうそ自然公園までの約12キロの道を脱藩しました。

主催者である葉山龍馬を愛する会(石村清郎会長)が、今年も奥四万十博のイベントということで例年とは違った内容にしたい

このことから、関所付近の朽木峠広場にて坂本龍馬や中岡慎太郎も食したと思われる「明治・大正グルメ」を振る舞おうと、羽釜飯を始め味噌、ジャコ、漬物や毎年好評のレンゲ汁を提供しました。皆さん絶景のなか、味わう美味しいご飯に大変満足されていました。道中では、三間川、樺ノ川、西谷地区、城下まつりin姫野々のお接待に「天気もいなかで、おいしいご飯と皆さんの温かいおもてなしに感動しました」と龍

馬に思いを馳せながら津野町を堪能した1日となりました。(産業課)



▼山道の中、杖をつきながら黙々と歩く参加者の皆さん



▲お楽しみ抽選会では津野町の特産品が大当たり



▲青空の下で食べる明治・大正グルメを堪能



▲「おらが龍馬大賞」に受賞されたイケメン龍馬の畑山修一さん(高知市)(右)



▲会長自ら「子連れ龍馬」に扮して参加者を楽しませていました